

ナイジェリアでラッサ熱が流行(更新 3)

2012年4月28日 CDC 情報



ナイジェリアでラッサ熱患者が増加しています。4月13日現在、今年に入り36州のうち19州から、死亡患者84名を含む疑い患者818名が報告されています。これまでに確定患者は131名となっています。死亡患者のうち7名は医療従事者です。患者はエド Edo 州、バウチ Bauchi 州、プラトー Plateau 州およびタラバ Taraba 州で発生しています。今年のラッサ熱患者の報告数は、これまでの年に比べて増加しています。しかしながら、これまでは、検査施設や調査体制の不備があったため、実際より少なく算定されたと思われる。ナイジェリア政府は、このラッサ熱の発生に対して、調査や治療を改善するとともに、住民への広報活動を実施しています。なお、世界保健機関(WHO)は、ナイジェリアへの旅行や貿易の制限を勧告していません。

ラッサ熱は、ギニア、リベリア、シエラレオネ、ナイジェリアの西アフリカで発生します。しかし、病気を媒介するネズミは、アフリカの他の国々でも生息しています。西アフリカでの年間患者数は10万~30万名で、死亡患者数は約5,000名です。シエラレオネやリベリアのある地域では、入院患者の10~16%がラッサ熱患者です。一年を通じて患者が報告されますが、1~5月が特に多く発生します。もし、ナイジェリアを旅行し、発熱、頭痛、咽頭痛、筋肉痛、胸痛、吐き気、おう吐、下痢、腹痛などの症状が出現した場合は、直ちに病院を受診し、ナイジェリアへ最近旅行したことを必ず伝えてください。